

(様式第9号)

情報公開用文書

「当院で理学療法を施行された経験のある患者さんまたは家族の方へ」
医学情報の研究利用について

- 1, 研究（調査）の目的と概略
高齢大腿骨近位部骨折術後患者の術後早期のリハビリテーション介入頻度と術後1週時の歩行能力との関連を明らかにするため
- 2, 研究（調査）の方法
大腿骨頸部・転子部骨折の診断の元、手術施行後に理学療法された患者様に関して、
 - 1) 患者特性に関する情報（年齢・性別など）
 - 2) 手術に関する情報（術式など）
 - 3) 術後経過に関する情報（歩行能力、在院日数など）上記に関する情報を収集します。氏名や住所は収集いたしません。このデータはすべて既存のデータのみです。
- 3, 研究（調査）の参加施設
徳島県立中央病院
- 4, 調査期間
調査期間 2022年4月1日から2024年7月31日まで
- 5, 調査の対象となる患者様
本研究の対象となるのは、上記調査期間の間に、大腿骨頸部・転子部骨折の診断の元、手術、理学療法を施行された患者様です。
- 6, この研究への協力は任意です
本研究は、患者様の診療記録から得られた情報のみを使用する「観察研究」と呼ばれるもので、患者様に新たな診療や検査を強いるものではありません。調査結果は、個人が特定できないように匿名化して管理し、個人情報を守ります。
データのご使用をお断りになる場合は、直ちに情報の利用を停止いたしますので、ご遠慮なくお申し出ください。何も診療に不利益は生じません。
- 7, お問い合わせ先
所属 徳島県立中央病院 医療技術局リハビリテーション技術科
研究責任者 池脇圭司（いけわき けいじ）
お問い合わせ先 徳島県立中央病院 TEL 088-631-7151